

通信は家の方にも見せてください。

自分に合う入試形態は…？

～次はみんなの番だ！ 特集 進学について その②～

今回は本校生が一番多く受験する推薦入試について説明します。

推薦入試 (1年生での呼び名は「推薦型選抜」)

大学・短大・専門学校側が求める基準(多くの場合3年間の評定平均)に合致し、人物的に優れているとみなされた場合に利用できる入試形態のことです。

そこでまず大切なのは「**評定**」です。1年次から3年次まですべての科目の評定の平均を「**評定平均**」と呼ぶことは皆さん知っていますね。ほとんどの大学・短大・専門学校は、推薦の条件として、学校ごとにその評定平均を指定しています。(例「評定平均4.0以上を推薦要件とする」等)全科目対象ですが、中には特定の教科を条件にする場合もあります。(例「全体の評定平均は3.5以上、ただし英語の評定平均は4.0以上とする」等)1年次から日々の学習と定期考査に力を入れて取り組む必要があります。

次に大切なのが、高校時代の「**活動実績**」で自分のPRポイントを作ることです。「部活動で3年間がんばった」「〇〇委員会でがんばった」これだけではPRになりません。「どのような活動をして、どんなことに気づいて、どんな力をつけて、それをどう進学先での学びに生かしていきたいのか」といった深まりが必要です。



そしてもう一つ、「**社会とつながる意識を持つ**」ということです。大学や専門学校に進学しても、いずれは社会人になりますね。それは何らかの形で社会に貢献するということです。進学する人は、そこで「何を学ぶのか」「その学びをどう社会に生かすのか」ということ、残りの1、2年で明確にしなければなりません。それが進学の意義であり、志望理由書や面接で必ず問われる重要事項だからです。そのためには、今何が問題になっているのかを知る必要があります。新聞や本を読みましょう。活字が苦手な人はせめてテレビのニュースを見るところから始めましょう。ネットニュースで知ったことも、新聞やニュースで確認することで公平な見方が養われると思います。そしてその気になったニュースを深く調べることから探求学習がはじまります。

また、**ボランティア等の校外活動**にも継続的に取り組みましょう。単発でおもしろそうなものに参加するよりも、目標を持って長く取り組む姿勢が評価されます。(保育士を目指して、児童館でのボランティアに継続して参加する、等)どの分野に進んでも必要な、年代や性別を越えたコミュニケーション力を培う手助けにもなります。

これらのことから、「推薦入試」に適した人というのは、「**高校時代の学業や諸活動(委員会・部活動・課外活動・ボランティア等)にしっかり取り組み、進学先で何を学びたいのかがはっきり決まっている人**」ということになります。不足な人は、そこに到達することを目指しましょう。

また、推薦入試には、「指定校推薦」と「公募推薦」があります。

指定校推薦・・・大学・短大・専門学校から、本校が「指定」される推薦入試。学校側と本校との信頼の上に成り立っているため、合格は確保しやすいが、一般の推薦よりも基準が厳しく人数も限られている。希望者が多い場合は校内選考となる。私立大・短大には多いが、国公立には無く、看護系の学校もほとんど無い。（自分の希望校が指定校になるかどうかは毎年違うので担任に相談。）

公募推薦・・・大学・短大・専門学校の基準を満たせば受けられる推薦入試。専願（合格したら必ず入学する）が基本。

どちらも3年次の9月に行なわれる進学推薦会議を経て学校長の推薦をもらえた場合、個別指導に入ります。

では、ここでAO・推薦の指導に入るためのそれぞれの要件を確認します。（4月に配付した「進路の手引き」にも載っているものです。）学校長推薦の有無で要件が違っていますが、どちらも保護者同意の第一希望であることと、オープンキャンパスに行くことは同じです

【AO入試：アドミッションズ・オフィス入試】

AO受験指導に入るための条件

- ①三者面談を実施し、保護者同意の上での第一希望であること。
- ②オープンキャンパスに参加した上で決定していること。
- ③指定校・公募推薦等も検討し、AO入試が最も本人に有利な方法であること。

【推薦入試】

推薦願を提出するための条件

- ①大学・短大・専門学校等から提示された推薦基準に合致していること。
- ②学業・人物とも、学校長の推薦に値する生徒であること。
- ③三者面談を実施し、保護者同意の上での第一希望であること。
- ④オープンキャンパスに参加した上で決定していること。

2年生は、1年後（いやもう夏休みには決定する必要があるでしょうから実質9ヵ月後）に向けて、具体的に動き出す時期に来ています。

1年生は余裕のある今の時期に多くの情報収集をして、目標を設定しましょう。なかなか目標が決まらない人は・・・とにかく勉強して新聞や本を読みましょう。

1年生について、今後起こる変化については次回お話しします。



先日進路室に遊びに来てくれた先輩（3月に卒業・天童本社の企業で大阪に勤務）の話

「仕事はわからないことだらけだけど、聞けば教えてもらえる。入社後すぐやめるのは、人間関係の問題っすね。高校時代のグループ活動は、自分の意見を話したり聞いたりする良い練習になりました。少人数の中で自分の意見が言えなきゃ人前で言えるわけないっすよ・・・」

卒業してからわかることもあります。毎日の授業で力をつけていたんですね。